

学校だより



平成28年9月30日

横浜市立二谷小学校
校長 渡邊 文子

関わり合いの中で培う力

副校長 齋藤忠雄

厳しい残暑の続いた9月でしたが、ようやく朝夕の涼しさや虫の鳴く声が、秋の気配を感じさせる今日この頃です。

9月は、5年生の南信州3泊4日、3年生の野島1泊2日の宿泊体験学習、1・2年生の野毛山動物公園遠足など、校外学習の続く月となりました。

南信州では、今年は天候にも恵まれ、児童は、ジャム作りや星空観察、川遊びやウォークラリーなど、大自然を満喫することができました。更に、なんといっても児童の心に強く印象を与えたのは、初対面の方の家へ泊めていただいた民泊であったようです。面識のない農家に迎えられて交流を図る中で、家族の温かさや優しさにふれたことは、児童にとってかけがえのない財産になったことと思われます。野島では、科学館での体験、協力して自分たちで作った夕食、事前から準備を進めて全員で楽しく盛り上げたキャンドルファイヤー、友達と共に過ごした一夜など、たくさんの思い出ができたことでしょう。野毛山動物園では、「落とさないようにやさしく抱こう。」と、小動物とふれあったり、2年生がお兄さん、お姉さんぶりを発揮して1年生をリードしながら園内を巡る動物クイズラリーを行ったりと楽しい一日を過ごすことができました。

近年、グローバル化や高度情報化が急速に進む社会にあつて、多様化する価値観の中で他者としっかりとコミュニケーションをとりながらさまざまな課題を克服し、社会を生き抜いていく力をもった「人づくり」が求められています。教室を飛び出して行われる校外学習では、ふれあいや関わりを通して、主体的に協働的に様々な課題に挑戦していく生きた学びの可能性が広がっています。きっと児童一人ひとりには学校での授業とは異なる体験を通して、貴重な学びができたのではないかと考えております。側面から児童を支えてくださった保護者の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

前期の終了が目前に迫ってきました。児童は「あゆみ」を各ご家庭に持ち帰ります。後期に向けてぜひ励ましとなるようなお声掛けをよろしくお願い申し上げます。